

科目名	学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態
インターンシップ : Internship	1,2K	2	480分×15回	必修	実習
教員名	指導教員・専攻科主任				
授業概要	企業などでの長期にわたる種々の就業体験を通し、実務問題の理解と対応能力を身に付けることを目的とする。また就業体験を通して、仕事の進め方、社会人としての接し方を学び、社会が要求し期待する職業人としての技術者像を確立する。原則として夏季休業期間中に3週間以上企業等に行き、就業体験をする。就業体験を報告書としてまとめ、その内容を発表する。				
到達目標		評価方法			評価配分
(1)実務問題を理解し、その問題に対応できる。		(1)報告書により評価する。			30%
(2)就業体験における成果を報告書にまとめることができる。		(2)報告書により評価する。			30%
(3)就業体験の概要を発表できる。		(3)報告会により評価する。			40%
学習・教育目標		(A)③	JABEE基準1(2)	(e), (d)-(1)	
授 業 計 画	内 容				
	インターンシップの概要				
	<ul style="list-style-type: none"> ・実習期間は、1年次又は2年次の夏期休業期間を原則とし、3週間以上とする。 ・実習テーマ及び実習期間は実習先から提示されたものを基本とし、指導教員と実習先とで協議の上決定する。 ・事前指導として、社会人として守らなければならない基本的なルールの徹底と心構えについて指導を行う。 ・指導教員は、必要に応じ状況の把握と指導を行うものとする。 ・実習中に日々の実習内容をインターンシップ実習日誌に記録し、実習先の点検を受けた後、本校へ提出する。 ・実習先の担当者は、実習終了時にインターンシップ証明書を作成し、本校に提出する。 ・実習終了時にインターンシップ報告書を作成し、実習先と本校へ提出する。 ・実習終了後、インターンシップ報告会において実習内容を発表する。 ・実施期間中に知り得た企業秘密等については、絶対に漏洩しないこと。 ・実習は原則として無報酬とする。 ・事後指導として、全員の实習修了後報告会を開催し、問題点や改善点があれば問題解決のための方策を講じる。 				
	主なスケジュール				
	4月				
	受け入れ企業等の調査と掲示				
	5月				
	6月 受け入れ企業とテーマや日程の調整				
	7月 事前指導				
	8月				
インターンシップ実施					
9月					
10月 インターンシップ報告書の提出					
11月 インターンシップ報告会					
自学自習の内容	就業体験をさせ、実務問題の理解と対応能力を身につけさせる。インターンシップ報告書を作成させる。				
関連科目					
教科書					
参考書	過去のインターンシップ報告書				
授業評価・理解度	インターンシップ実施後、アンケートを行う。				
副担当教員					
備考					